

国語科（書写）

国語科（書写）について、以下の観点に基づき、発行者ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 書写の指導の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図る工夫・配慮がされていること。
- 2 書写の学習内容が系統立てて取り上げられ、国語の指導とも関連させた配列であること。
- 3 生徒の創造的な能力や主体的な学習を促す工夫がされていること。
- 4 毛筆の学習の成果が硬筆の学習に生かされるように、教材内容や構成が工夫されていること。
- 5 書写の能力を生活に役立てることができるよう配慮されていること。
- 6 他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮されていること。
- 7 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 8 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。

国語科（書写）

調査研究の結果

■東京書籍「新編 新しい書写 一・二・三年」

筆の持ち方や用具の置き方など、必要な作法が写真で示されるとともに、左利きの生徒への指示もなされるなど、多様な生徒へ配慮されている。また、筆使いの基本は、「右払い」「反り」といった用語や、「スー」「ピタッ」といったわかりやすい擬態語を用いて朱墨で示され、生徒にとって感覚的にわかりやすいとともに、文字全体の筆の通り道が朱墨で示され、手の動かし方や力の入れ具合のイメージを視覚的に持たせる工夫がされている。さらに、習得の段階を踏まえた学習設定について、楷書から行書、毛筆から硬筆へと基礎から応用への展開が的確に図られている。

国語の教科書から硬筆手本が豊富に引用されており、柔軟な書字指導に配慮されるとともに、毛筆で学習したことが同じページで硬筆練習できるように工夫され、日常への活用が図られている。また、言葉・用紙・筆記用具などを選択し、個性を生かした作品作りの展開が工夫されるとともに、手紙、レポートなど多様な書式例や横書きの書式、数字の書き方、チャレンジ体験の依頼状、壁新聞といった他教科の学習も視野に入れた作品例が、資料編だけでなく学習ページにも豊富に紹介されている。さらに、手紙で敬意を示すための頭語や結語などの紹介も、相手によって字体や文章内容を変えた作品例を示すことで、相手を思いやる配慮を示している。

ただし、教科書サイズがA B版で、毛筆の授業では多くの使い慣れない道具を用いるため、手本として広げて使用する際に机からはみ出してしまうことが予想される。

「選定の視点」の評価結果：◎6 ○12 △1

■学校図書「中学校 書写」

書く姿勢、筆の持ち方、構え方など、必要最小限の作法が写真で示されるとともに、筆使いの基本は、「左払い」「はね」といった用語を用いて朱墨で示され、小学校での既習事項の復習から学習が始められるよう図られている。楷書から行書、漢字から仮名との調和、毛筆から硬筆へと、学習展開が習得の段階を踏まえて設定されており、基礎から日常の書字への活用が適切に図られているが、国語の教科書からの手本の引用が少なく、書写の時間以外での書字学習が難しい。また、毛筆で学習した内容を次の段階では硬筆で復習ができるように構成されるとともに、様々な筆記用具やその使用例を紹介することで、日常の書字への活用が図られているが、硬筆手本の文字は字形の変化に乏しく、単調な印象である。さらに、毛筆と硬筆を分けて授業展開が提示されているため、学習の関連は図りにくく、書字や活動に関する説明は詳しく、わかりやすい反面、生徒の文字の独自性を生かすにくい面がある。

手紙、のし袋、原稿用紙など多様な書式例や、様々な筆記用具の活用例、チャレンジ体験のお礼状、ポスターなど、他教科の学習を視野に入れた活動が紹介され、学校生活から将来にわたって日常生活に役立てられるよう工夫されているが、巻末の漢字一覧表は行書のみが表示となっており、生徒が日常の文字と比較しづらい点は弱い。また、教科書のサイズがA B変形版となっており、広げて手本として使用する際に机からはみ出してしまうことが予想される。

「選定の視点」の評価結果：◎1 ○12 △6

■三省堂「現代の書写一・二・三」

書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の置き方や片付け方など、活動の場面に応じて必要な作法が絵や写真で示されるとともに、筆使いの基本が、「左払い」「とめ」といった用語を用いて示され、小学校での既習事項を復習してから、中学校の学習が始められるよう段階的に構成されている。また、筆の通り道を朱墨で示すことで、字形のイメージを視覚的に持たせる工夫がなされるとともに、筆使いについて、わかりやすい言葉を用いて説明することで、基礎基本の理解を踏まえて練習できるよう配慮されている。さらに、楷書から行書、仮名との調和、様々な筆記用具での書字例など、学習展開が習得の段階を踏まえて適切に設定され、日常への活用例も豊富に示されている。一方で、国語の教科書からの手本の引用は少なく、書写の時間以外での書字学習が難しい。

毛筆で学習した内容は硬筆で確認できるように設定されるとともに、様々な筆記用具や書く場面を紹介することで、日常の書字や創作への活用が図られている。また、送り状、原稿用紙、ノートなど多様な書式例や、横書きの文字や数字、チャレンジ体験のお礼状など、他教科の学習を視野に入れた活動が巻末で紹介され、日常生活に役立てられるよう工夫されているが、高等学校書道への関連を意識した歴史的な古書の写真の中には、中学校の学習内容にない草書で書かれたものが多く判読できない文字がある。

「選定の視点」の評価結果：◎1 ○16 △2

■教育出版「中学書写」

書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の置き方や片付け方など、活動の場面に応じて必要な作法が写真で示されるとともに、筆使いの基本が、「右払い」「はね」といった用語や例示を用いて朱墨で示され、既習事項の復習が図られている。また、文字全体の筆の通り道を朱墨で示したり、中心線を表示したりすることで、手の動かし方や力の入れ具合、余白の取り方のイメージを視覚的に持たせる工夫がなされている。さらに、楷書から行書、仮名との調和、毛筆から硬筆という習得過程を踏まえた学習設定がなされると同時に、古書をはじめ芸術的な価値の高い作品を豊富な写真で例示することで、高等学校書道へのつながりも意図されている。ただし、巻末の漢字一覧表は行書のみ表示となっており、生徒が日常使用する文字と比較しづらい。また、歴史的な古書や屏風や掛け軸の写真の中には、中学校の学習内容にない草書で書かれたものが多い。

国語の教科書から多くの手本を引用しており、柔軟な書字指導にも適応できる。毛筆で学習した内容は次のページにおいて硬筆で復習ができるように設定されるとともに、様々な作品例や展示の仕方を紹介することで、日常生活での創作活動への活用が図られているが、毛筆と硬筆の学習は単元を分けた設定になっているため、学習の関連が図りにくい。また、やや硬筆練習の分量が多く、バランスを欠いている。新聞、ノート、面接シートなど、多様な書式例や、横書きの文字や数字、チャレンジ体験のお礼状など他教科の学習を視野に入れた活動が資料編だけでなく学習ページにも紹介され、生徒の日常を想定した活用場面が紹介されている。

「選定の視点」の評価結果：◎1 ○15 △3

■光村図書出版「中学書写 一・二・三年」

書く姿勢，筆の持ち方，構え方，用具の置き方や片付け方など，活動の場面に応じて必要な作法が写真で示されるとともに，筆使いの基本は，「左払い」「反り」といった用語を用いて「スー」「トン」といったわかりやすい擬態語を用いて朱墨で示され，感覚的につかみやすい。また，文字全体の筆の通り道が朱墨で示され，特に筆先の向きや手の動かし方，力の入れ具合のイメージを視覚的に持たせる工夫がなされている。習得の段階を踏まえた学習設定について，楷書から行書，仮名との調和，毛筆から硬筆へと基礎から応用への活用が的確に図られている。

国語の教科書からの手本の引用が豊富であり，書写の学習時間数の実態に即した，実用的な編集になっており，毛筆で学習した次の学習段階で硬筆を繰り返し練習できるような書き込み欄を設定するとともに，様々な作品例や学習を活かした記念品作りを紹介することで，日常の書字への活用が図られている。手紙，ポスター，グラフなど多様な書式例や，横書きの書式や片仮名，チャレンジ体験のお礼状など他教科の学習を視野に入れた活動が紹介されている。

全体のページ数は少ないものの，楷書や行書，毛筆から硬筆など必要最小限の学習事項が全て網羅されており，日常への活用例も多岐にわたる内容がコンパクトに資料編にまとめられている。

「選定の視点」の評価結果：◎7 ○12 △0

※詳細の結果・データは，観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

観点別資料 一書写一

【選定の観点1】

書写の指導の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の定着を図る工夫・配慮がされていること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	<p>○書く姿勢、筆の持ち方、構え方、用具の置き方や片付け方など、活動の場面に応じて、必要な作法が写真で示され、円滑な学習に向けた配慮がされている。</p> <p>○筆使いの基本が「右払い」「反り」といった用語とともに朱墨で示され、「スー」「ピタッ」といった擬態語を用いることで、生徒の感覚的に理解しやすくなり、優れている。</p> <p>○楷書や行書の書体が詳しく説明され、筆使いや運筆についても、その違いがわかりやすく言葉で説明されている。</p> <p>○文字全体の筆の通り道を朱墨で表現すること、手の動かし方や力の入れ具合のイメージを視覚的に持たせてから書けるよう配慮がされている。</p>	<p>○書く姿勢、筆の持ち方、構え方など、必要最小限の作法が写真で示され、円滑に学習に取り組めるよう配慮がされている。</p> <p>○筆使いの基本が「右払い」「反り」といった用語とともに朱墨で示され、既習事項の復習が図られている。</p> <p>○楷書、行書の筆使いについて詳しく説明され、基礎基本を理解してから書けるよう配慮されている。</p> <p>○基本の書き方に関しては筆の通り道を朱墨で表現すること、字形のイメージを視覚的に持たせてから書けるよう配慮がされている。</p> <p>○硬筆手本の字形が変化に乏しく、<u>単調な印象を与える。</u></p>	<p>○書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の置き方や片付け方など、活動の場面に応じて必要な作法が写真で示され、円滑な学習に向けた配慮がされている。</p> <p>○筆使いの基本が「右払い」「反り」といった用語と書くときの筆先の向きが示され、既習事項の復習が図られている。</p> <p>○楷書、行書の書き方について詳しく説明され、基礎基本の理解が図られている。</p> <p>○基本の書き方に関しては筆の通り道を朱墨で表現すること、字形のイメージを視覚的に持たせてから書けるよう配慮がされている。</p>	<p>○書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の置き方や片付け方など、活動の場面に応じて必要な作法が写真で示され、円滑な学習に向けた配慮がされている。</p> <p>○筆使いの基本が「右払い」「反り」といった用語や例字が、ともに朱墨で示され、既習事項の復習が図られている。</p> <p>○楷書、行書の筆使いや運筆についてわかりやすく説明がされており、優れている。</p> <p>○書体の特徴について詳しく説明され、筆使いや運筆についても、その違いがわかりやすく言葉を用いて説明され、基礎基本を理解した上で、書けるよう配慮がなされている。</p> <p>○文字全体の筆の通り道を朱墨で表現し、各手本には作品の中心線を点線に入れておくことで、手の動かし方や力の入れ具合、余白の取り方のイメージを視覚的に持たせるよう配慮がされている。</p>	<p>○書く姿勢、筆の持ち方、用具の置き方や片付け方など、活動の場面に応じて必要な作法が写真で示されるなど、円滑な学習に向けた配慮が充実している。</p> <p>○筆使いの基本が「右払い」「反り」といった用語とともに朱墨で示され、筆圧を教えることで、生徒が感覚的に理解しやすくなり、優れている。</p> <p>○書体の特徴について詳しく説明され、筆使いや運筆についても、その違いがわかりやすく言葉を用いて説明され、基礎基本を理解した上で、毛筆でも硬筆でも繰り返し練習できるように工夫され、優れている。</p> <p>○文字全体の筆の通り道を朱墨で表現していることで、筆先の向きや力の入れ具合のイメージを視覚的に持たせてから書けるよう工夫されている。</p>

【選定の観点2】

書写の学習内容が系統立てて取り上げられ、国語の指導とも関連させた配列であること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	<p>○楷書や行書の書体学習で、仮名との調和をあわせて学習することで、学習した書体が日常の書字に生かせることを実感できる。</p> <p>○定期的な学習の展開が工夫されている。</p> <p>○定期テストや入試問題を想定した書写テストが掲載され、3年間の書写の知識のポイントが整理して掲載されている。</p> <p>○国語の教科書から硬筆手本を豊富に引</p>	<p>○楷書や行書の学習で、書体の学習、仮名との調和を目指した学習、日常の書字に生かす学習など、段階を踏まえて系統的な学習の展開が工夫されている。</p> <p>○国語の教科書からの硬筆手本の引用が少なく、限られた書写の時間内での書字指導に限定されてしまう。</p>	<p>○楷書や行書の書体や仮名との調和を学習してから、生活に生かすことを目指し、毛筆から硬筆、短い文から長い文へ系統的な学習活動が多く設定され、生徒が日常生</p> <p>○国語の教科書からの硬筆手本の引用が少なく、限られた書写の時間内での書字指導に限定されてしまう。</p>	<p>○楷書や行書の学習で、書体の学習に加え、それぞれの書体での仮名との調和を目指すし、毛筆から硬筆、熟語から文章へと学習内容を系統的に設定されている。</p> <p>○古書を例示し、生徒の鑑賞する力を鍛えるよう工夫されている。</p> <p>○国語の教科書の作品から硬筆手本を用い</p>	<p>○楷書や行書の学習で、書体の学習に加え、それぞれに仮名との調和を目指し、毛筆から硬筆、大筆から小筆、熟語から文章へと生徒の定着の段階を想定して、学習活動が系統的に設定されており、優れている。</p> <p>○仮名文字の成り立ちや字形を学ぶとともに、日常の書字や文字文化につながる学</p>

<p>用することで、その関連を図るとともに、書写の時間に限らず柔軟に書字指導ができるよう工夫されている。</p>		<p>意に限定されてしまう。</p>	<p>ことで、書写の時間に限らず柔軟な書字指導ができるよう工夫されている。</p>	<p>習展開が工夫されている。 ○国語の教科書の作品や文章から、現代文・古典を問わず、硬筆手本を積極的に引用し、国語の授業と関連する教材が豊富で、書写の時間に限らず柔軟な書字指導ができるよう工夫され、優れている。</p>
--	--	--------------------	---	--

【選定の観点3】

生徒の創造的な能力や主体的な学習を促す工夫がされていること。

発行社名		2 東書	11 学図	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○言葉・用紙・配列・筆記用具・色などを選択し、自分の作品を仕上げられる題材が盛り込まれており、個性を生かした作品づくりができるよう工夫され、優れている。 ○学習前後の自らの書字を見比べ、自分で改善点を見付けさせるなど、主体的に書字に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○様々な筆記用具やその使用例を紹介することで、生徒が日常の様々な場面で生かせるよう配慮がなされている。 ○作品の装装の種類や創作のためのアドバイスなどが随所に示され、作品づくりを通して、自らの課題を克服していきけるよう工夫されている。 ○様々な書字や活動に関する説明が詳しいため、生徒の文字の独自性を生かされにくい側面がある。</p>	<p>○様々な筆記用具や書く場面が効果的に紹介されており、生徒の創作意欲を喚起する工夫がされている。 ○各単元の導入で整った文字について考えてから、作品を書くまでのワークシートや手順等が記載されるなど、一連の活動を通して自らの課題に気付けるよう工夫されている。</p>	<p>○多くの作品例や展示の仕方を掲載し、日常生活で活用できるような幅のある題材が工夫されている。 ○作品例や創作に向けたアドバイスなどが示され、作品づくりを通して、学習した内容を活用する活動が美感を伴ったものとなるよう工夫されている。</p>	<p>○日常で活用できる作品例や学習した内容を生かして記念品を作る題材が盛り込まれており、書字学習を生活に応用する流れが明確に示されている。 ○各単元に目標と振り返り、学習のポイントや注意点が簡潔にまとめられており、活動しながらその都度ポイントが確認できるよう工夫されている。</p>		

【選定の観点4】

毛筆の学習の成果が硬筆の学習に生かされるように、教材内容や構成が工夫されていること。

発行社名		2 東書	11 学図	15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>○毛筆で学習した書き方のポイントについて、同じページ内の硬筆学習において、他の文字でも確認できるような構成が工夫されている。</p>	<p>○毛筆の学習を行った後、その学習内容に関連したまとめとして硬筆練習が設定されるなど、学習の定着に向けた構成の工夫がされている。 ○毛筆と硬筆の単元を分けて授業展開が提示されており、学習の関連が図りにく</p>	<p>○毛筆で学習した書き方のポイントについて、硬筆では他の文字で確認すること</p>	<p>○毛筆の手本ページの後に、他の文字で学習ポイントが確認できるような硬筆練習が設定されるなど、定着を図る工夫がされている。 ○硬筆学習のページが比較的多く設定されており、ややバランスを欠いている。</p>	<p>○毛筆の学習を行った後、その学習内容に関連した硬筆練習のページが設定されており、学習の定着が図られている。</p>		

【選定の観点5】

書写の能力を生活に役立てることができるよう配慮されていること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	○手紙、メモ、レポート、マップ、ポストカード、入学願書など多様な書式例が資料編だけでなく、学習ページにも紹介され、生徒の実態に見合った活用場面の工夫がされている。	○手紙、送り状、のし袋、原稿用紙、メモなど多様な書式例が紹介され、生徒の日常生活や将来に役立てる工夫がされている。 ○巻末の漢字一覧表が行書のみで、 <u>生徒が日常使う文字との比較がしつらい。</u>	○手紙、送り状、のし袋、原稿用紙、ノート、願書など多様な書式例が資料編に紹介され、日常生活に役立てる工夫がなされている。	○手紙、送り状、のし袋、原稿用紙、新聞、ノート、面接シートなど多様な書式例が資料編だけでなく、学習ページにも紹介され、日常に生かせるよう工夫されている。 ○巻末の漢字一覧表が行書のみで、 <u>生徒が日常使う文字との比較がしつらい。</u>	○手紙、送り状、願書、のし袋、原稿用紙、ポスター、レポート、グラフなど多様な書式例が資料編に豊富に紹介され、生徒の実態に即した活用例が工夫されている。

【選定の観点6】

他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮されていること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	○横書きの行の整え方、数字、アルファベットの書き方について課題が設定され、他教科等の学習活動に生かせるよう工夫されている。	○様々な筆記用具の活用例が掲載されており、他教科等の学習に役立てるための工夫が優れている。 ○高等学校書道の内容を意識した臨書や篆刻などがわかりやすく紹介されており、生徒の関心を高める工夫がされている。 ○チャレンジ体験のお礼状、壁新聞、ポスターなど多様な例が示され、生き方探究（キャリア）教育等への活用が図られている。	○横書きの行の整え方、数字、アルファベットの書き方について課題が設定され、他教科等の学習活動に生かせるよう工夫されている。 ○高等学校書道を意識した古書の内容が資料としてわかりやすく紹介され、生徒の興味を引き出す工夫がなされている。 ○チャレンジ体験のお礼状、壁新聞、電子メールの余白の工夫など多様な場面での例が示され、生き方探究（キャリア）教育等への活用が図られている。	○横書きの行の整え方、数字の書き方について課題が設定されるなど、他教科等の学習活動に生かすための工夫が優れている。 ○掛け軸や屏風など高等学校書道の内容をわかりやすく紹介し、生徒の関心を高めるよう配慮されている。 ○チャレンジ体験のお礼状、願書、新聞の題字など多様な例が示され、生き方探究（キャリア）教育等への展開が図られている。	○横書きの行の整え方、カタカナの筆使い、アルファベットの書き方、また速く書くときの文字の許容についても示されており、他教科等の学習に役立てる工夫がされている。 ○歴史的な書など高等学校書道の内容をわかりやすく紹介し、生徒の関心を高める配慮がされている。 ○チャレンジ体験のお礼状、壁新聞、ポスターなどの豊富な例が示され、生き方探究（キャリア）教育等へのつながりが工夫されている。

【選定の観点7】

基本的な人権の尊重及び道徳性の育成の観点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	○手紙で敬意を示すための頭語や結語の紹介に加え、相手によって字体や手紙の文章内容を変えるなど、作品例によって相手を思いやる配慮が優れている。 ○「大志」「友情」といった向上心、友情、思いやりなど道徳的な文字が作品例として示されている。	○手紙で敬意を示すための頭語や結語の紹介をするなど、作品例によって相手を思いやる配慮がされている。 ○「理想は高く」「親しい友」といった向上心、友情など道徳的な文字が作品例として示されている。	○手紙で敬意を示すための頭語や結語、時候の挨拶例の紹介をするなど、作品例によって相手を思いやる配慮がされている。 ○「最後まで仲間」「夢があるから努力できる」といった友情、向上心、未来など道徳的な文字が作品例として示されている。	○手紙で敬意を示すための頭語や結語、後付けの書き方の紹介をするなど、作品例によって相手を思いやる配慮がされている。 ○「友好の精神」「夢を信じる」といった思いやり、未来など道徳的な文字や作品が例として示されている。	○手紙で敬意を示すための頭語や結語の紹介をするなど、作品例によって相手を思いやる配慮がされている。 ○「地球」「輝ける未来へ」といった自然、希望といった道徳的な文字や作品が例として示される。

【選定の観点8】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	○ユニバーサルデザインを考慮し、原色を避けた色合いで、文字に目がいきやすく、色の識別が難しい場合や支援の必要な生徒への配慮がされている。また、学習の基本作法の説明に、左利きの生徒への配慮が行き届いており、優れている。 ○手本に筆の通り道を朱墨で示しているほか、挿絵や図表、写真を取り入れることで、文章理解や指示理解に役立てている。 ○再生紙・植物油インキを使用するともに、造本も丈夫である。 ○教科書サイズがA/B版で、広げると机からはみ出してしまふ。	○ユニバーサルデザインを考慮し、多くの色を使用せず、色使いは見やすく、色の識別が難しい生徒や支援の必要な生徒への配慮がされている。 ○基本の書き方では筆の通り道を朱墨で表した手本を掲載しているほか、使用する筆記用具をマークで示すなど、指示を視覚的にわかるよう配慮している。 ○環境に配慮した紙・植物油インキを使用するともに、造本も丈夫である。 ○教科書サイズがA/B変形版で、広げると机からはみ出してしまふ。	○ユニバーサルデザインを考慮し、色調をおさえた色使いで、文字に目がいきやすく、色の識別が難しい生徒や支援の必要な生徒への配慮がされている。 ○基本の書き方では筆の通り道を朱墨で表した手本が掲載されているほか、挿絵や吹き出しなどを多く取り入れることで、文章理解や指示理解に役立てている。 ○環境にやさしい用紙・植物油インキを使用するともに、造本も丈夫である。 ○資料として掲載された古書の中に、判読できない文字がある。	○ユニバーサルデザインを考慮し、使用する色の種類をおさえ、文字に目がいきやすく、色の識別が難しい生徒や支援の必要な生徒への配慮が見られる。 ○基本の書き方では筆の通り道を朱墨で表した手本が掲載されているほか、資料やコラムのページ以外には注釈や挿絵を極力抑えた紙面になっており、支援が必要な生徒の文章理解や指示理解に配慮している。 ○再生紙・植物油インキを使用するともに、造本も丈夫である。 ○資料として掲載された古書の中に、判読できない文字がある。	○ユニバーサルデザインを考慮し、多くの色を使用しないことで、見やすい紙面となっており、色の識別が難しい生徒や支援の必要な生徒への配慮が優れている。 ○基本の書き方で筆の通り道を朱墨で表した手本が掲載されているほか、イラストや吹き出しを豊富に取り入れることで、文章理解や指示理解に役立てる配慮がみられるなどの工夫がなされている。 ○環境に配慮した紙・植物油インキを使用するともに、造本も丈夫である。

書写

観点別・視点別評価

「◎」優れている 「○」標準的 「△」やや劣る

選定の柱	選定の観点	選定の視点				光村図書
		東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書	
1 基礎的・基本的な知識・技能	書写の指導の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の定着を図る工夫・配慮がされていること。	1 字形・筆順等の提示	○	△	○	◎
		2 行書・楷書など書体の知識の定着	◎	○	○	◎
		3 反復による定着	○	○	○	◎
		4 毛筆の基礎学習の工夫	◎	○	○	◎
2 思考力・判断力・表現力等	書写の学習内容が系統立てて取り上げられ、国語の指導とも関連させた配列であること。	1 学習の系統性	○	○	○	◎
		2 日常の書字に活かす工夫	○	◎	○	○
		3 国語の教科書との関連	○	△	○	◎
3 学習意欲	生徒の創造的な能力や主体的な学習を促す工夫がされていること。	1 生徒の創造性や個性を生かす工夫	◎	○	○	○
		2 主体的な書字を促す工夫	○	△	○	○
6 各教科独自の観点・他教科等との関連	毛筆の学習の成果が硬筆の学習に生かされるように、教材内容や構成が工夫されていること。	1 硬筆と毛筆の学習のつながり	○	△	○	○
		5 書写の能力を生活に役立てることができるよう配慮されていること。	○	△	△	○
6 各教科独自の観点・他教科等との関連	他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究(キャリア)教育等の教育課題との関連について配慮されていること。	1 他教科・他校種との関連	○	◎	○	○
		2 キャリア教育等との関連	◎	○	○	○
7 基本的人権の尊重・道徳性の育成	基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。	1 他者への配慮を育む工夫	◎	○	○	○
		2 敬愛、協力などの考えを促す工夫	○	○	○	○
7 基本的人権の尊重・道徳性の育成	表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。	1 文字や写真、図表、挿絵の色や大きさ等	○	○	△	○
		2 装丁や紙面のレイアウト	△	△	○	○
		3 堅牢な造本	○	○	○	○
		4 ユニバーサルデザインの視点	◎	○	○	◎